

(2) 環境と共生した循環型社会

海に囲まれ、山、清流など多くの豊かな自然が残されている九州では残された自然環境を美しく健全な状態で将来に継承するため、環境教育、環境活動の場としての森林、河川、海の活用などによって広く環境意識を醸成するとともに、自然環境の保全・再生等に取り組む。

また、閉鎖性水域など環境が悪化している区域については、環境負荷の抑制や自然界の浄化能力の維持・向上、効率的な環境監視などに取り組むことで環境の再生を図る。

大量生産、大量消費時代に経験した公害問題を省み、地球規模で深刻化する環境問題に率先して取り組み、資源の有効利用を考えリサイクルに努めるなど、環境に負荷の少ない循環型の社会を目指す。



図 松浦川アザメの瀬整備イメージ